

6. 現職教員に対する本プロジェクトの取組

現職教員に対する本プロジェクトの取り組みとして、本年度は、教員免許状更新講習および公開講座でのAL活動を取り入れた講習の実施を計画した。教員免許状更新講習については、コロナ禍により実施が見送られたため、公開講座のみ実施した。

公開講座でのAL活動を取り入れた講習の実施


これまで取り組んできた実施の結果を踏まえ、本学で開催した公開講座において、ICTを活用したAL的な活動を取り入れた講習を実施した。講習の概要を以下に示す。

講習名：教員対象(専門性向上) 授業におけるICT活用入門

- 講習概要：授業におけるICT機器を活用した授業づくりについて、実際にタブレットPCなどに触れながら、講義と体験をとおして以下の点について学習する。
 - 先進・優良事例の紹介と事例に基づいた授業でのICT利活用のポイント
 - ICT機器および授業支援ソフト等の操作演習
 - 学習者の立場からの授業におけるICT活用の体験
 - ICTを活用した授業の計画とグループでの共有・発表
 - 講師：齋藤ひとみ、梅田恭子、猪狩秀人（NTTラーニングシステムズ株式会社）、山田初美（NTTラーニングシステムズ株式会社、本学クロスアポイントメント研究員）
- 講習では、ICTを活用した学習者・教員間の意見共有や、授業計画の作成・共有を行なった。また、作成した授業計画などについてグループ内、クラス全体で発表・議論した。
- 学習者・教員間の意見共有：Google Jamboardを使用し、「1人1台学習用タブレットなどを活用してあなたが実現してみたいこと」を書き出し、クラス全体で共有した（図1）。
 - Googleのスライドを使用し、自身の考えた授業におけるICT活用をまとめ、グループ内、クラス全体で発表を行った（図2）。

【ミニワーク】ICTを活用して実現してみたいこと

**1人1台学習用タブレットなどを活用して
あなたが実現してみたいことを、
付箋にたくさん書き出してみよう**



【Google Classroom + Jamboardを活用】
【テンプレートはクラス全体に1枚配布】

25

図1: 学習者・教員間の意見共有

授業づくりワークショップの進め方

- ワークシートの各項目に、各自で記入する。（15分）
- グループ内で共有し、互いにフィードバックする。
発表者を決め、グループで内容を再検討する。（15分）
- 各グループから発表を行う。（30分）

<発表の流れ> 発表4分+質疑応答1分 × 5グループ

- ・「場面」と「学習活動」の流れについて説明する。
- ・「ICTの活用意図」と「活用ツール」について説明する。
- ・他グループから質問を受け、応える。

【Google Classroom + Googleスライドを活用】
【テンプレートは各自に1枚ずつ配布】

38

図2: 授業計画の作成と発表・議論